	平成	24	年	度 事務	事業:	評価シー	-ト(平5	t 23	年	度実施	布事	(業)	整理番号	教学教02		
								.,		会計	1	一般会計				
=	事務事業	<b>毛名</b>	営田中学校新築建替え事業						予	款	10 教育費					
総	まちづ	くり	3	<b>ルルナ. 担 3 =</b>	7 184 9	、去も、ナナ			算科	項	3	中学校費				
巫	の目標	(章)	3	次代を担うる	トともを	と目むより			目	Ш	1	学校管理費				
本計	施策(館	ī)	2	学校教育						事業	68	誉田中学校新	<b>f築建替えに向</b>	けた基本設計		
画	施策の	方向	(1)	義務教育の引	艺実				作月	<b></b>	学村	交教育室 著	女育総務課			
	重する計	_							連	絡先	072	- 958 - 111	1 <b>内</b> 線	4131		
	対象(		何る	<u>*</u> )												
業の	誉田中生															
目				犬態にしたい			\					a total and a second				
的	The state of the s												境の整備を行			
事	<ul><li>営田中学校校舎や体育館の改築や耐震補強・老朽改修整備工事を行う。</li><li>平成23年度 基本設計</li></ul>															
業の	平成24	年度	実加	施設計、改築		に伴う埋蔵文化財調査										
内	平成25年		体育	育館の耐震補	強・老	朽改修工事 5 度には即	、校舎	ひ築工事	\$ 634	今コト 14ケ	フ	・レイ状へ知	ルナまたマウ			
容	平成26年 平成27年			F以榮工事、 F校舎の耐震									2体工事を予定 :	0		
<b>*</b>	艮拠法令			教育法、中学												
	業開始			平月		年度開始						終了:	<b>年度</b> 平成 27	年度		
	<b>美開始時</b>	から	耐震	性能を確保し	記整備のこ	ニーズが語	高まって	いる。								
	犬況変化 民や議会・	の亜														
望	人下跃五	<b>07</b>	児童等が1日の大半を過ごす施設なので、耐震性能を備えた建物整備の要望等													
	実施手:	法		直営	✓ –‡	8季託	全部	委託		補助金	• 助	成金	] その他(	)		
	委託先	Ē		外郭団体委託	名称				委	託内容	基本	<b>二設計業務</b>				
			✓	民間委託												
		区		分		22年度 (実績)		(年度 (実績)		24年度 見込み			活動単位当	たりコスト		
事	業費【1]	]			(千円)	(入順)		11,624		56, 7		70,000,000		•		
人作	牛費【2	]			(千円)		0	3, 295		3, 1		50,000,000		/		
		職員				0.00		45 人		0.45	人	40,000,000				
		用職	員			0.00		00 人		0.00	人	30,000,000				
	数陽訊	職員	0.00 人 0.00 人						_	0.00	스 ·	20,000,000				
	超過勤	職員 怒 (参	孝)		(時間)			10 人	_	0. 01	時間	10,000,000	<u> </u>			
	事業費	(【1】		(2) ) (A)	(千円)	0.00		14, 919		59, 8		<sub>o</sub> L				
140	国費		•	L2 / L//2	(千円)		V .			00,0	0		22 23	24(目標)		
	三月							0								
	財府費				(千円)			0			0					
	財府費	t						-			0	100 -	成果指	標①		
	財源内訳	t t )他	(手娄	枚料・使用料等)	(千円)			0 0			0 0	100	成果指	票①		
	財源内訳の一般	t i )他 设財源			(千円) (千円) (千円) (千円)	00 to 15		0 0 0 0 14, 919		59, 8			成果指	票①		
	財源内訳のおいては、一般を表現である。	创 创他 收財源 事業 <i>0</i>	D活動		(千円) (千円) (千円) (千円)	22年度	23	0 0		59,8 丰度(目		90 80 70 60	成果指	漂①		
1	財源内訳 一一般 一十十二年 一十十二年 一十十二年 一十十二年 一十十二年 一十十二年 十十二年	( )他 以財源 事業 <i>0</i> 計件数	<b>D活</b> 動		(千円) (千円) (千円) (千円) <b>単位</b> 件	22年度	0	0 0 0 14,919 <b>3年度</b>				90 80 70 60 50	成果指	漂①		
1	財源内訳を持ている。 おおります。 まれば、これば、これば、これば、これば、これば、これば、これば、これば、これば、こ	( )他 <b>) 地</b> <b>財源</b> 事業の 計件数 計件数	<b>D活</b> 重 女	動実績)【B】	(千円) (千円) (千円) (千円) <b>単位</b> 件	22年度	23	0 0 0 0 14, 919				90 80 70 60 50	成果指	標 <b>①</b>		
① ② ③	財源 内訳 市 その 一般 動指標( 基本施設 埋蔵文	(1) 他 (2) <b>財源</b> 事業の 計件数 計件数 計件数	<b>D活動</b> 女 女 問査作	動実績)【B】	(千円) (千円) (千円) (千円) <b>単位</b> 件 件	22年度	0 0	0 0 0 14, 919 <b>3年度</b> 1 0	244		標) 1 1 1	90 80 70 60 50 40 30 20	成果指	標①		
① ② ③ 活動	財源内訳 府市 その 一般 を 上 を 上 を を と を と を と か と を と か と を と か と か と と か と か	社 動 シ <b>財源</b> 事業の 計件数 計件数 に財訓	<b>D活動</b> 女 女 間査(	動実績)【B】 中数	(千円) (千円) (千円) (千円) 単位 件 件 件	22年度	0 0 0 0	0 0 0 14, 919 <b>3年度</b> 1 0	244	<b>丰度(目</b>	標) 1 1 1 1	90 80 70 60 50 40 30 20	成果指	票①		

	÷			指標名	単位	指標設定の考え方	平成22年度	平成233		平成24年度
_15.	達成度	1	基本	• 実施設計進捗率	%	設計事務全体を100とし	目標	100	達成率(%)	100
成果			(式)	(各年度毎終了事業経費 事業経費) ×100	÷全体	た場合の工程の進捗度合	実績		100	100.0%
指標		2					目標			達成率(%)
	指標)	٧	(式)				実績			

市の関与の必			市の関与が必要な理由											評価					
			1	2	3	4	5	6	7		8	9	必要性	分析・評価の説明					
			法令上 の義務	受益者 が不特 定多数		市民の 不安を 解消	経済的		民間が けでは 供給ス 足	t 下 i	市の特色等で も 市内を へ発信	を にも受 外 益があ	有	学校施設は、生徒達はも ちろんのこと、災害時に は近隣住民の避難場所と なる。また、施設の耐震					
	要 性		0	0		0		0	0			0		化は、設置者である市が 行う必要がある。					
	視	点									該当なし		分析・評価の説明						
			市民ニース	ズが高い					✓					が昨今大きな関心時と					
			市民ニース	ズに比較し	てサービス	の供給過剰	削となってし	ない	<b>✓</b>			なっている。災害発生時に、避難場所となる学校関連施設の耐震性の確保が優先され							
			社会情勢の変化に対応している									るべき事	業である。						
	妥当	性	他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない									また、保護者等からは、一刻も早く耐震性能が確保された校舎の完成を望む声が大き							
			国・府の事	業と重複し	ていない						✓	い。校舎等の整備は設置者である市が行う 必要がある。							
			事業を休止、廃止した場合の影響度が大きい									少安/パ゚(メ) '	ა ₀						
			緊急性が認	認められる	0				✓										
			単位コスト	が適切でも	ある(経年、	他市比較な	ほど)		<b>✓</b>					人札で業者を決定し、効					
			受益者負担の割合は適当である								<b>√</b>	率的に業績		、いる。 Ľ事は、耐震診断を踏ま					
,			人員を削減する余地がない									え補強計	画を立案し	、その結果を実施設計					
分 析	効率	性	事業費を削減する余地がない									に反映さ	せる必要か	ぶある。					
•			簡略化できる方法や手段がない																
評			市の他事業と重複していない																
価			民間活力(民間委託、NPO、ボランティア、PFIなど)の活用について検討の余地がない								<b>V</b>								
			上位の施策(目的)が明確である											§化や整備は、児童や生 環境を確保するために必					
	有效	h/华	上位の施策(目的)への貢献度が高い事業である											R現を確休するために必 B先事業でもある。					
	דונאנו	,,_	成果を向上させる余地がない									平成23年	度には、計	十画通り設計業務を行う					
			市民の視点にたってサービスが提供されている									ことがで	- •						
			事業の企画、立案に市民が参加している								<b>✓</b>	耐震化・   明会等を3		)実施に際して、工事説					
	協働	州生	事業の実施に向けて、市民と情報の共有が図られている									別本寺で	大旭して	· ⁄J 。					
			事業の実施について積極的に市民の意見を反映している									ļ							
			事業の実施に市民の参加、協力が得られている							Ш	Щ	T-100 E	<del>*</del>						
	<b>.</b> + 1		成果指標の目標値は適正である							Ш	Щ	平成23年度においては、当該年度事業である る誉田中学校整備工事の基本設計の作成を							
	達凡		成果指標の実績値は目標値以上である 成果指標は前年度より向上している								H	完了した							
				ま削年度よ	り回上して	いる			<b>√</b>	Ш	Ш								
		総合	評価																
			拡大・	充実 🗸	現状維	持	方法改善		営化∙	民間	委託	□ 縮小	·	隆止·休止 □ 完了					
į		評価	の理由																
}												があり、ま せることが		常時に避難場所となる					
		今後	今後に向けて(取組方針、具体的な改善改革案など)																
	ľ																		
		基本設計が完成したので、それに従って、今後は本格的な工事に向けての実施設計、さらには体育館の耐 補強や改修、校舎改築、運動場の整備の各工事を平成27年度にかけて実施していく。											さりには体育館の耐震						